

# 『小学社会』 選定の観点から見た内容の特色

観点	『小学社会』の特色と具体例
<b>選択、程度</b>	
◆社会科の目標を達成するための適切な内容が取り上げられているか。	◆学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いに従い、基礎的・基本的な事項が確実に取り上げられ、厳選した教材・資料が掲載されている。特に社会の変化や今日の課題が反映された事象が積極的に教材化されているとともに、そうした変化や課題に自ら対応する能力や態度を育成するという視点から、問題解決的な学び方や調べ方が詳しく示されている。 ◆学校や児童の実態や興味・関心に応じて、補充的・発展的に活用することのできる教材・資料も掲載され、個に応じた指導に対応できるように配慮されている。
◆児童の発達段階に対してどのように配慮されているか。	◆全学年を通じ、発達段階に応じて無理なく学習することのできる内容となっている。また、グラフや地図、写真やイラストには読み取りのための着目ポイントを示すなど、資料活用を支援する配慮がなされている。 ◆3・4年は、生活科との違いに留意しながら、社会科の学び方、調べ方、資料の活用の仕方の基礎を身につけることを重視した内容となっている。3・4上(3年)は、生活科との接続が留意され、身近な地域の事例を体験的な活動を重視して楽しく学べるように配慮されている。3・4下(4年)は、児童が住んでいる市(区、町、村)や県(都、道、府)の事例を中心しつつ、5年への接続をふまえて、他の都道府県や国々についても一部取り扱うようになっている。 ◆6年の末尾には、小学校の社会科全体を振り返り、中学校で学びたいことを作文にまとめる活動が位置づけられており、中学校との接続にも配慮されている。
◆児童にとってわかりやすく、興味や関心を喚起する内容が選択されているか。	◆各学年とも児童の生活経験と結びつきの深い身近な事例が取り上げられ、学習意欲が高まるように配慮されている。特に学習の導入では、児童が、これまでの知識や経験、体験的な活動、イメージをふくらませやすい資料などをともに、興味・関心を高めながら課題の発見や学習の進め方の手がかりがつかめるように工夫されている。
◆児童の学力向上に対して、どのように配慮されているか。	◆教材は、各学年の目標に到達することができるよう考慮され適切に取り上げられている。また、問題解決的な学習の進め方、学習課題、調べ方や考え方、資料の活用の仕方、重要語句(「キーワード」)が明示されているなど、小学校社会科で何をどのようにして学ばばいのかを伝えやすくする工夫がなされている。 ◆言語活動については、学習の流れにそくして適宜、学習場面が位置づけられ、その活動に必要な技能や考え方のポイントもていねいに示され、習得した知識を活用し、考えながら表現する力が育まれるよう配慮されている。 ◆各単元の末尾(「まとめる」のコーナー)には、知識や概念の整理・定着を図り、追究の帰結について確かめる設問が掲載され、学力の確実な向上が図られるよう配慮されている。 ◆基礎・基本を応用してさらに学びたい児童が関心や意欲に応じて活用したり、複数の教材の中から選択して学習したりすることができるように編修されており、個に応じた力を伸ばす学びの場も確保されている。
<b>組織・配列、分量</b>	
◆単元(教材)が学習指導要領に対応し、適切に構成されているか。	◆各学年の単元(教材)構成は、学習指導要領の内容や区分に準拠して組織されている。また、児童の発達段階、学年間の接続に配慮がなされ、地域の実状に応じた学習が展開できるように工夫されている。学習指導要領で選択して取り扱うことが指示されている内容については、各学年とも適切な事象や事例を選択するとともに、主教材のほかにも、地域や学校、児童の実状に応じて柔軟に扱うことができるサブ教材が豊富に掲載されている。 ◆3・4年の地域の歴史に関わる内容は3年(上巻)と4年(下巻)に分割して位置づけられ、児童の発達段階に対する配慮がなされている。5年は、最初に世界の中の日本の位置や国土の広がりに関わる内容が置かれており、グローバル化の進展に対応した単元構成上の工夫が図られている。
◆二期制の導入に対して配慮されているか。	◆各学年の単元(教材)構成は、前期・後期の二期にも配分しやすく配列されている。
◆単元(教材)の系統性に配慮されているか。	◆単元間のつながりを重視し、児童が自らの問題意識や学習意欲を持続しながら追究できるように工夫されている。また、安全・防災、伝統・文化、人権・福祉、国際理解・平和、環境・公害、情報などの社会的な重要課題についても、各学年の学習内容に合わせて系統的にとらえられるように構成されている。
◆単元(教材)の分量が適切に設定されているか。	◆各学年の年間授業時数をふまえ、単元の扱いに軽重をつけるなど、児童がじっくりと追究しながら充実した学習を進めることができるように設定されている。学習指導計画上も、調査活動や表現活動のための時間も十分に確保することができるように設定されている。
<b>表記・表現、資料</b>	
◆記述内容が正確・中立で一貫しているか。	◆記述内容が正確・中立であることはもとより、児童の思考や論理展開に整合しており明快である。各単元の学習課題から追究、整理に至る問題解決の記述が首尾一貫しており、思考力・判断力の育成を図ることができる。
◆記述の読みやすさに配慮されているか。	◆当該学年以上の配当漢字や固有な名詞、社会科用語等には、見開きごとに「ふりがな」を付すとともに、平易な文章表現や語句解説により、読解に負担がからないように配慮されている。文字は、教育的配慮を施した専用の書体を用い、3・4年と5・6年で書式を変えるなど、発達段階に応じて読みやすく表現されている。 ◆1文が数行にわたる記述は文節で改行する、図版中の文字のふりがなに濁点と半濁点の区別がつきやすい「ユニバーサルフォント」を用いるなど、読みやすさに対する特段の配慮がなされている。
◆内容構成が子どもにとって見やすく、理解しやすいように配慮されているか。	◆各学年の巻頭に「教科書の使い方」を解説するページが設けられ、教科書の内容構成に対する十分な理解が図られるよう工夫されている。 ◆原則として1単位時間の内容が見開き2ページで構成され、学習と指導の両面からわかりやすく、見出しをもちやすいように工夫されている。見開きの紙面構成も、本文記述と資料が明確に区分され、視覚的に見やすく配置されている。 ◆資料のネームにはア、イ、ウ…の記号が付され、どの資料に注目すればよいのかを簡潔に指示することができるよう工夫されている。 ◆選択して扱うページには、紙面にマークや解説が付され、選択の仕方や趣旨に対する十分な理解が図られるようになっている。 ◆3・4年には、見開きごとに学習活動の内容や順序を3段階で端的に示した「活動」が記載され、教科書の内容構成に対する十分な理解が図られるよう工夫されている。
◆資料が正確で効果的に提示されているか。	◆資料が正確であることはもとより、対象をとらえやすいイラスト、写実的に観察できる写真など、資料の性格や目的を考慮しながら、本文記述や資料間の関連づけが図られるように提示されている。特に、迫力のある見開きの資料や折込ページが豊富に採用され、資料性と学習効果が高まるように工夫されている。
◆色覚に関して、識別しやすいように配慮されているか。	◆色覚のタイプにより色の見え方に違いがあることに配慮し、全ページにわたって図版等の色を工夫したり、形や模様など色以外の表現を加えたりして、すべての児童に見やすくわかりやすい紙面になっている。
<b>学習活動</b>	
◆子どもが目的をもって主体的に学習活動に取り組むことができるように配慮されているか。	◆大単元・小単元・単位時間に、それぞれ学習問題が明示され、見直しをもって学習を進められるように配慮されている。また、学習の進め方のモデルや、調べ方、学び方などの学習スキルが適切に示され、児童が主体的に学習活動に取り組めるよう工夫されている。 ◆同年代の児童のキャラクターが登場し、学習者が親しみをもちながら共感的に学び合いを進めることができるように工夫されている。
◆問題解決学習や資料活用への取り組みに配慮されているか。	◆各学年に、問題解決的な学習の進め方・考え方のモデルが提示され、問題解決過程での手順や操作が明確に示されている。また、個々の興味に応じたテーマの選定や、複線型の学習を可能にする場面なども設定され、獲得した知識や技能を活用しながら、児童自らが課題を発見・解決していく「問題解決能力」の育成が重視されている。 ◆資料の収集をはじめ、分類・表現・解釈・検証などの活動を発達段階に応じて取り入れるとともに、「学びのたびき」の中に資料の読み取り方を重点的に位置づけるなど、資料活用能力の育成のために工夫されている。
◆言語力の向上に向けて配慮されているか。	◆社会科の学習の流れにそくして多様な言語活動の場面を設け、習得した知識を活用し、考えながら表現する力が向上するように配慮されている。言語活動を進めようとして必要な技能については、文章に書き表す技能や、話をしたり聴いたりする技能を中心に、その方法や留意点を提示するなど、工夫されている。
◆作業的・体験的な学習活動が有効に取り入れられているか。	◆導入・追究・まとめの各学習過程に応じて、多様な活動や体験を適宜取り入れ、児童が興味・関心を高めながら意欲的に学習できるように配慮されている。さらに、児童による活動場面の写真や作品例が豊富に掲載され、学びの姿を具体的にイメージすることができるように工夫されている。 ◆具体的な作業指示が記載されていたり、教科書の紙面に直接記入する作業活動のページが設けられていたりするなど、作業的な学習活動を促すために工夫されている。

観点	『小学社会』の特色と具体例
◆人物や文化遺産を中心とした歴史学習に配慮されているか。	◆学習指導要領で掲げられた42人の人物を中心に、人物の肖像画や写真、生没年などの情報がわかりやすく示され、小見出しにも人物名を付すなど、歴史的事象との結びつきがとらえやすいように工夫されている。また、人物を中心にした調べ学習のモデルや、人物に焦点をあてたコラムなどの資料が豊富に提示されている。 ◆代表的な文化遺産や伝統文化を焦点化して取り上げ、それぞれの時代像や特色をイメージ豊かにとらえることができるように配慮されている。国宝や国の重要文化財、世界遺産登録対象などの写真にはマークを付して、文化遺産や伝統文化を中心とした学習を進めやすくするために配慮されている。
◆他教科の学習や総合的な学習の時間との関連は図られているか。	◆社会科の学習に立脚しながら、教科横断的・総合的な学習へと深化・発展させることのできる教材や活動が豊富に例示されている。
◆“発展的な学習内容”への取り組みに配慮されているか。	◆社会科の基礎・基本に立脚しながら、学んだことを応用して、意欲や関心に応じて学習するときに活用することができる特設コーナー(「もっと知りたい」)が各単元の末尾に設けられている。
<b>社会的課題</b>	
◆人権教育・福祉教育に対して、どのように配慮されているか。	◆本書の編集の柱である「人間尊重の精神」に基づき、お互いの人権が守られる差別の無い社会について考察したり、すべての人にとっての安全や住みよさという視点から、身近な暮らしを見直したりする学習活動が重視され、共生・共創社会の実現を追求する力が養われるように配慮されている。 ◆同和教育にかかわる内容についても、同和問題の歴史的・科学的な認識が深まるように配慮され、人権保障や問題解決に向けた努力の必要性が強調されている。
◆環境教育に対して、どのように配慮されているか。	◆自分たちの暮らしを支えている自然環境について多面的に考察し、理解を深める学習活動が重視され、「持続可能な社会」の創造に向けて自ら考え行動する力の基礎が養われるように配慮されている。 ◆「地球規模で考え、足元から行動する」観点が強調され、廃棄物の減量やリサイクルをはじめ、循環型社会への転換を追求する教材が多く取り入れられている。
◆国際理解教育・平和教育に対して、どのように配慮されているか。	◆地域の外国籍の人との交流や地域の国際化などの事例を通して、国籍や文化・習慣の違いをこえてお互いを理解・尊重し合う必要性が強調され、国際社会に生きる日本人として「共に生きる・共に創る」社会の実現を追求する力が養われるように配慮されている。 ◆発達段階をふまえながら、戦時下の暮らしや戦争のもたらした惨禍について具体的にとらえる学習活動が重視され、平和の尊厳や平和を希求する人々の願いについて実感することのできる教材が取り上げられている。
◆情報化の進展に対して、どのように配慮されているか。	◆パソコンやインターネットを活用した調査活動の方法や留意点が示されており、情報を有効に受信・発信・発信することのできる情報活用能力が養われるよう配慮されている。 ◆情報のもつ光と影の両面を的確にとらえ、情報を主体的に収集・選択・活用できる情報リテラシーの育成が重視されている。
◆消費者教育に対して、どのように配慮されているか。	◆安全・健康・環境などの観点から、自分の暮らしを見つめ直し、行動する学習活動が重視され、賢い消費者として主体的に生きる力が養われるように配慮されている。
◆伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を育成するために、どのように配慮されているか。	◆国や地域の伝統と文化にかかわる学習内容が、すべての学年に位置づけられ、伝統や文化について理解を深めることができるように教材や配列が工夫されている。 ◆6年では、日本を代表する伝統文化の事例を豊富な写真資料で紹介したり、体験活動を取り上げたりして、伝統文化に親しむとともに、文化の発展を政治や経済と関連づけてとらえることができるように記述されている。これらを通して、我が国と郷土を愛する態度を育成することができるように配慮されている。 ◆各学年とも国旗を尊重する態度の育成が図られるように配慮され、6年では日章旗(日の丸)・君が代の由来や意義についても言及されている。
◆社会の形成に参画する態度の育成など、公民的資質の涵養に対して、どのように配慮されているか。	◆地域や社会の「これから」について考え合い表現し合う学習場面として「深める」が各単元の末尾に位置づけられ、社会参画という観点から学習にさらなる深まりがもたらされるよう工夫されている。3・4年の「深める」では、地域の社会的な事象に対する理解が深まり、愛郷心が涵養される「発信型」の学習が重視されている。 ◆地域や社会を支えている多様な人々や、郷土や日本の繁栄を築き上げてきた先人たちの姿を共感的に理解していく学習が重視され、国家・社会の形成者としての自覚が図られ、社会参画に向けた意識が涵養されるよう配慮されている。 ◆3・4年では、地域の人々による行事や諸活動が多様に紹介され、また、それらに積極的に参画する児童の姿が重視して取り上げられており、社会参画に向けて理解を深めたり意識を高めたりすることができるよう配慮されている。
◆勤労観の育成などキャリア教育に対して、どのように配慮されているか。	◆各学年とも、働く人々の具体的な姿を通して社会的な事象をとらえることが重視されている。働く人からの聞き取りの場面が、学習の流れにそくして随所に設けられ、働く人々の工夫と努力、苦勞と喜びなど、個々の内面にまで迫ったキャリア教育に資する内容となっている。
◆食育に対して、どのように配慮されているか。	◆安全な食料を安定的に供給するための生産・流通の工夫、安全で新鮮な食料を購入するための消費者の工夫など、「食」に関する内容が社会科の特性にそくして取り上げられている。
◆ボランティア教育に対して、どのように配慮されているか。	◆社会的な事象との関わりの中で、他者や社会のために自らすすんで活動する人々の事例が積極的に取り上げられ、その意義や背景にある課題に着目できるように配慮されている。
◆男女共同参画に対して、どのように配慮されているか。	◆学習活動の場面では、女子と男子が協力し合いながら取り組む様子が描写されている。また、女性の社会進出や男性の家事参加なども積極的に取り上げ、性別による差別の解消と男女共同参画社会の追求が強調されている。
◆防災に対して、どのように配慮されているか。	◆防災に関わる内容が各学年に位置づけられており、社会科の学習と防災教育との連携を効果的に図ることができるようになっている。 ◆過去の災害から学び、自助・共助・公助の考え方にもとづき、地域や国土の防災・減災、自分の身の安全の確保、被災地の復興に向けて積極的に考え行動する主体の形成に必要な内容が取り上げられている。
◆領土に関する学習に対して、どのように配慮されているか。	◆日本の領土については、各学年とも学習指導要領の内容や趣旨にもとづき、政府見解に立ち適切に記載されている。5・6年では北方領土問題を中心に、竹島の領土問題や尖閣諸島を巡る問題に関わる解説や資料が掲載され、それらの問題の平和的な解決が日本にとって重要な課題であることが明示されている。
◆道徳教育に対して、どのように配慮されているか。	◆各学年とも、主体的・積極的な社会への参加や貢献、他者との協力や助け合いと感謝の精神、調査活動における礼儀やマナー、生命の尊重、自然環境の保全、法やきまりの遵守などを重視した内容となっており、社会科の特性にそくして道徳的な心情や態度を育成することができるように配慮されている。
<b>地域化</b>	
◆3・4年の地域学習に対して配慮されているか。	◆地域副読本との併用を前提に、学習計画の立て方や調べ方、まとめ方など、学習活動の方法や手順、注意点について重点化し、「学びのたびき」のコーナーや巻末(3・4上)を中心にわかりやすく示してあり、地域での学び方が身につくように配慮されている。 ◆スーパーマーケットの内部の様子、昔のくらしの様子、火災現場と消火活動の様子などの大判で精緻なイラストが掲載されているなど、各地域の副読本と併せて有効に活用できるように工夫されている。
◆5・6年の学習では、どのように地域化が図られているか。	◆地域化を促す視点が適宜、示されている。5年には、各地の実情に応じて、選択したり必要に応じて活用したりすることのできる多様な内容の教材が設けられている。6年は、歴史学習の導入部に、身近な地域の史跡や遺跡に着目することを促す内容が設けられている。
<b>印刷・製本</b>	
◆印刷の仕上がりは、鮮明で見やすいか。	◆文字や資料などの印刷は鮮明で、色彩もビジュアル性が高い。特に、写真やイラストの発色がきれいなうえ、地図やグラフ等の資料も読み取りやすい。
◆本の造りは、使いやすく配慮されているか。	◆年間の使用に耐えうる堅固な製本で、装丁にも汚れにくい加工が施されている。表紙は、各学年の学習内容に関連した写真と児童の活動写真で構成され、明るく魅力的である。また、環境への配慮から、再生紙を用いて植物油インキとグリーン電力により印刷されている。

## 伝統・文化に関する扱い

**3・4年**

- 学区にある寺や神社 (上p.13, 17)
- 地域の伝統的な行事 (上p.98～105)
- 地域にある古民家 (上p.99)
- 地域の伝統的な行事を継承する人々の努力 (上p.102～103)
- 伝統的な行事に込められた人々の願い (上p.104～105)
- 地域の人々をつなげる役割を果たす伝統的な行事 (上p.103)
- 伝統的な年中行事 (上p.104～105)
- 災害からの復興に祭り果たす役割 (上p.105)
- 地域に残る文化財の分布を地図にまとめる学習活動 (上p.118～119)
- 地域の伝統的な行事の継承を担う小学生 (上p.121)
- 伝統的な工芸品の継承に努める人々 (下p.122～129, 132～133)
- 県の伝統的な工芸品の分布を調べる学習活動 (下p.130)
- 伝統的な工芸品の継承を支える国や機関の働き (下p.131)
- 文化財や史跡の保護・活用に努める人々 (下p.145)

**5年**

- 四季に合わせた日本の暮らしの工夫 (5上p.14～15)
- 沖縄の伝統的なつくりの家に見る暮らしの工夫 (上p.25)
- 沖縄県の史跡や伝統的な行事 (上p.28)
- アイヌの人たちの伝統的な文化とその継承に向けた取り組み (上p.50～51)
- 伝統文化としての稲作 (上p.72)
- 地域で生産される食料を使った郷土料理 (上p.106)
- 人々に安らぎを与える伝統的な工芸品 (上p.153)
- 白神山地の原生林の美しい景観 (下p.30～31)
- 日本の世界遺産 (下p.62～63)

**6年**

- 日本の歴史 (上p.4～152)
- 万葉歌碑 (上p.5, 6)
- 法隆寺 (上p.25)
- 日本の神話 (上p.27)
- 東大寺の大仏・正倉院 (上p.28, 31)
- 唐招提寺 (上p.30)
- 厳島神社 (上p.40)
- 中尊寺金色堂と、その復元・継承に向けた取り組み (上p.47)
- 室町文化 (上p.48～53)
- 金閣 (上p.49)
- 銀閣 (上p.49)
- 水墨画 (上p.50)
- 龍安寺 (上p.51)
- 茶の湯・生け花 (上p.51)
- 伝統行事・祇園祭 (上p.52)
- 能・狂言 (上p.53)
- 日光東照宮 (上p.66)
- リサイクル都市江戸 (上p.75)
- 江戸の文化と学問 (上p.76～85)
- 芝居小屋につめかける人々 (上p.76)
- 浮世絵 (上p.79)
- 浮世絵がヨーロッパ文化に与えた影響 (上p.79)
- 今につながる江戸の文化 (上p.86～87)
- 近代化を今に伝える建造物 (上p.89, 99)
- 日本美術のすばらしさを発見したフェノロサ (上p.105)
- 移住した人たちが海外に伝えた日本の文化 (上p.117)
- 伝統文化を通じた外国人の人々との交流 (下p.72)

## 人権・福祉に関する扱い

**3・4年**

- 様々な人が買い物をする店内の様子 (上p.57)
- 誰もが買い物しやすい店の設備 (上p.59)
- 食品工場における働きやすさへの配慮 (上p.79)
- パリアフリーな交通安全施設 (下p.10～11)
- 障害のある人へのごみの収集サービス (下p.45)

**5年**

- アイヌの人たちの文化 (上p.50～51)
- 自動車工場における働きやすさへの配慮 (上p.118)
- 誰もが利用しやすい人にやさしい車づくり (上p.128)
- 雇用機会の均等や職場環境の改善 (上p.153)
- インターネットを活用した医療・福祉 (下p.14～17, 20)
- 個人情報の保護 (下p.24～25)
- 公害病による被害と裁判 (下p.57)

**6年**

- 室町時代の優れた造園技術を担った人々 (上p.51)
- 武士と町人・百姓の身分 (上p.60～61)
- 松前藩によるアイヌの人たちの支配 (上p.71)
- 江戸時代の身分制度と、社会を支えた人々 (上p.72～73)
- 優れた技術や知識を生かして、近代医学の発展に寄与した人々 (上p.82)
- 洗染一揆に立ち上がった人々 (上p.92)
- 四民平等と「解放令」 (上p.94～95)
- 北海道の開拓とアイヌの人たち (上p.95)

**6年**

- 福沢諭吉と「学問のすゝめ」 (上p.99)
- 日本式点字を開発した石川倉次 (上p.105)
- 女性の地位向上を旨とする運動 (上p.114)
- 全国水平社の運動 (上p.114)
- 戦後の民主改革と日本国憲法の制定 (上p.136～137)
- 北朝鮮による日本人拉致問題 (上p.142)
- 少子化・高齢化が進む日本 (下p.2～3)
- 国や地方自治体による子育て支援事業と住民の願い (下p.4～7)
- 地方自治のしくみ (下p.8～9)
- 行政の施策と税金 (下p.10～11)
- パリアフリーな公共施設 (下p.26～27)
- 基本的人権の尊重、差別の撤廃 (下p.32～33)
- 異なる国籍や文化をもつ人々との共生 (下p.59)
- 子どもの権利条約とユニセフの活動 (下p.66～67)

## 環境・公害に関する扱い

**3・4年**

- 地球環境に配慮した消費活動 (上p.65)
- 工場におけるごみ減量化とリサイクルの取り組み (上p.82)
- 有機肥料・低農薬の野菜づくり (上p.91)
- 環境にやさしい昔の暮らし (上p.111)
- ごみ処理施設の公害防止策 (下p.47)
- ごみの減量とリサイクル (p.48～49, 53)
- 最終処分場の土地の確保や費用をめぐる問題 (下p.50～51)
- 地域の人々によるごみ減量化・リサイクルの取り組み (下p.54～57)
- 水源林のはたらきと、保全のボランティア活動 (下p.67～69)
- 節水 (下p.70～71)
- 下水の処理と再利用、水の循環 (下p.72～73)
- 再生可能エネルギーの模索 (下p.80～81)
- 自然の景観を保全する取り組み (下p.146～151)

**5年**

- 国土の気候や地形の特色 (上p.14～49)
- 有機栽培やあいがも農法による稲作 (上p.63)
- 環境を守る水田のはたらき (上p.72)
- 環境に配慮したトラック輸送 (上p.80)
- 養殖漁業や栽培漁業と自然環境との関わり (上p.87)
- 「森は海の恋人」の植林活動 (上p.88～89)
- 環境に負荷をかけない食料生産 (上p.99)
- 自動車工場での環境保全の取り組み (上p.119)
- 環境に負荷をかけない自動車輸送 (上p.127)
- 環境にやさしい自動車の開発 (上p.130)
- 中小零細工場の技術と環境にやさしい商品の開発 (上p.150～151)

**5年**

- 森林に親しむ体験活動 (下p.32～33)
- 森林のはたらき (下p.34～35)
- 森林を守り育てる人たち (下p.36～37)
- ボランティアやナショナル・トラスト運動による国土の保全 (下p.38)
- 森林と地球環境問題 (下p.39)
- 北九州市における環境保全と環境首都を旨とした取り組み (下p.48～55)
- 生態系 (下p.56～57)
- 公害の歴史と教訓 (下p.57)
- 環境保全に向けた暮らしの見直し (下p.59)
- 資源・エネルギー問題 (下p.60～61)
- 日本の世界遺産 (下p.62～63)
- 日本環境マップ (下p.66～67)

**6年**

- リサイクル都市江戸 (上p.75)
- 足尾銅山鉱毒事件と田中正造 (上p.112)
- 高度経済成長と公害の発生 (上p.140)
- 再生可能エネルギーを取り入れたまちづくりの模索 (下p.24)
- 地球規模の環境問題と持続可能な社会 (下p.70～71)

## 安全・防災に関する扱い

**3・4年**

- 校外学習における安全への留意 (上p.11)
- 学区にある防災関連施設 (上p.17)
- スーパーマーケットにおける防災の取り組み (上p.59)
- 災害からの復興に祭り果たす役割 (上p.105)
- インターネットや電子メールを利用する際の個人情報保護への留意 (上p.125)
- 交通事故や犯罪の防止に努める公共機関や地域の活動 (下p.4～19)
- 交通法規を順守できているか確かめるチェックシート (下p.11)
- 「こども110番の家」の取り組み (下p.17)
- 地域安全マップを作成する学習活動 (下p.18～19)
- 安全に向けて自分自身がなすべきことを論述させる設問 (下p.19)
- 火災の予防や被害の抑止に努める公共機関や地域の活動 (下p.29)
- 地震に備えた公共機関や地域の活動 (下p.30～35)
- ハザードマップ (下p.30)
- 防災に向けて自分自身がなすべきことを論述させる設問 (下p.35)
- 地域の安全を考える「地域安全会議」を開く学習活動 (下p.36～37)
- 防災公園設置を実現した地域の人たちの取り組み (下p.38～39)
- 災害で荒廃した土地に用水路をつくり復興に導いた郷土の先人 (下p.106～107)

**5年**

- 国土の自然条件と災害との関係 (上p.18～19)
- 低地の水害を防ぐ公共事業 (上p.48～49)
- 水田が果たす洪水防止の役割 (上p.72)
- 災害からの復興に努める食料生産の現場 (上p.88～89, 104～105)

**5年**

- 災害が工業生産に及ぼす影響 (上p.123)
- 災害が海外現地生産に及ぼす影響 (上p.141)
- 緊急地震速報のしくみ (下p.4～5)
- 情報が災害時に果たす役割 (下p.8～9)
- 情報を受ける側が留意すべきこと (下p.10～11)
- 情報ネットワークを有効に活用した防災 (下p.21)
- インターネット活用時の安全への留意 (下p.24～25)
- 情報ルールづくりの学習活動 (下p.27～28)
- 森林が水害防止に果たす役割 (下p.34～35)
- 自然災害の防止 (下p.40～47)
- 日本で近年発生した大きな自然災害の一覧表 (下p.41)
- 日本列島の主な火山の位置、大きな地震の震源地、プレート境界を示した地図 (下p.42～43)
- 災害防止のための公共事業 (下p.44～45)
- 自然災害と自助・共助・公助 (下p.46～47)
- 過去の災害を記録した史跡から学ぶ (下p.47)
- 防災のための啓発活動に取り組む小学生 (下p.47)

**6年**

- 関東大震災の被害 (上p.113)
- 関東大震災からの復興に尽くした後藤新平 (上p.116)
- 日本が取り組むべき課題としての東日本大震災からの復興 (上p.144)
- 災害からの復旧・復興と政治の働き (下p.18～25)
- 災害時における自助・共助・公助 (下p.25)
- ユニセフによる被災地への支援 (下p.67)
- 国境を越えて行われる災害時の支援活動 (下p.75)

## 国際理解・平和に関する扱い

**3・4年**

- 外国から運ばれてくる食品 (上p.63)
- 工場で使う原料の輸入 (上p.80)
- 資源の輸入依存 (下p.76～79)
- 外国に由来のある地場産業 (下p.125)
- 物や人の行き来を通した外国との結びつき (下p.152～157)
- 国旗 (下p.158)
- 外国との文化を通じた交流 (下p.158～159)

**5年**

- 地球儀の特色と活用 (上p.5, 9)
- 世界の国々の暮らし (上p.6～9)
- 日本の周りがある国々と国旗 (上p.10～11)
- 領土・領土問題 (上p.10～13, 43, 82)
- 外国産米の輸入と農家への影響 (上p.69)
- 200海里経済水域と漁場問題 (上p.83)
- 輸入水産物の増加と価格競争 (上p.83)
- 食料の輸入依存、南北格差 (上p.96～99)
- 自動車の輸出と海外生産 (上p.132～135)
- 労働に対する考え方の違い (上p.135)
- 世界各国との貿易と今後の課題 (上p.136～141)
- 大工場の海外移転 (上p.147)
- 情報ネットワークを活用した国際交流 (下p.18)
- 公害を防ぐ技術の移転 (下p.52)

**6年**

- 渡来人やその子孫の活躍 (上p.20, 28～29)
- 遣隋使や遣唐使の派遣 (上p.22～25, 30)
- 人の行き来を通した文化の伝播 (上p.30)
- 世界各地の文化の日本への影響 (上p.31)
- キリスト教やヨーロッパ文化の伝来 (上p.59)

**6年**

- 禁教と鎖国 (上p.68～69)
- 朝鮮通信使による交流、出島や琉球での貿易を通した外国との結びつき (上p.70～71)
- 海外にも影響を与えた浮世絵 (上p.79)
- 蘭学の研究と解体新書の出版 (上p.82～83)
- 黒船の来航と開国 (上p.90～91)
- 岩倉遣欧使節団と女子留学生 (上p.94～95)
- 日本に招かれた外国人 (上p.97)
- ノルマントン号事件と条約改正 (上p.106～107, 111)
- エルトゥールル号の遭難と大島の人々 (上p.107)
- 世界で活躍した日本人 (上p.113)
- 太平洋戦争と国民生活 (上p.118～133)
- 空襲、沖縄戦、広島と長崎への原爆投下 (上p.118, 128～131)
- 日本の独立と国際社会への復帰 (上p.138～139)
- 東京オリンピックの開催 (上p.138～139)
- 周辺諸国と日本との外交関係 (上p.142～143)
- 日本の領土をめぐる問題 (上p.143)
- 日本国憲法と平和主義 (下p.34～35)
- 日本とつながりの深い世界の国々 (下p.40～61)
- 文化体験を通じた国際理解 (下p.45)
- 地域に暮らす外国籍の人との共生 (下p.59)
- 世界で活躍する日本人 (下p.62～65)
- ユニセフの活動と国際連合 (下p.66～69)
- 地球環境を守るための国際協力 (下p.70～71)
- スポーツや文化を通じた国際交流 (下p.72)
- 国旗と国歌 (下p.73)
- ODAとJICA (下p.74, 78～79)
- 日本が受けた国際支援 (下p.75)

## 情報に関する扱い

**3・4年**

- インタビューや電話、手紙による調査活動 (上p.122～123)
- インターネットや電子メールの利用の仕方や留意点 (上p.125)
- 緊急通報のしくみ (下p.13, 22)

**5年**

- インターネットを活用した生産者による商品情報の公開 (上p.79)
- 新聞づくりの活動 (上p.102～103)
- コンピューターを活用した自動車のデザインと設計 (上p.111)
- インターネットを活用した調査活動 (上p.112～113)
- コンピューターによる自動車の生産管理 (上p.116, 120)
- 生活に生かされている情報 (下p.2～3)
- 緊急地震速報とニュースを伝える仕事 (下p.4～7)
- 様々なメディア (下p.8～9)
- マスメディアの情報が及ぼす影響 (下p.10～11)
- 教育、医療、福祉、防災に活用されるインターネット (下p.12～21)
- インターネットで結ばれる現代の生活 (下p.22～23)
- 情報の送受信に際して気をつけること (下p.24～25)
- 情報格差を解消する取り組み (下p.25)
- 情報ルールづくりの学習活動 (下p.27)

**6年**

- 鎖国による情報の独占 (上p.69)
- 様々な情報を活用した調べ学習 (下p.41)

## 健康・消費者に関する扱い

**3・4年**

- 食品の安全性を考慮した販売や消費 (上p.61, 62, 64～65)
- 食品工場の衛生管理 (上p.76～77)
- 有機肥料・低農薬の野菜づくり (上p.91)
- 生産者と消費者の交流 (上p.95)
- ごみや下水の処理と健康な暮らし (下p.42～59, 72～73)
- 水資源の確保と健康な暮らし (下p.60～71)

**5年**

- 消費者の願いにこたえる安全でおいしい米づくりや産地直送の取り組み (上p.70～71)
- 消費者の農業体験と農村交流 (上p.70)
- 水産物の鮮度保持と衛生管理の工夫 (上p.79)
- 養殖業での安全性や品質を高める工夫 (上p.85)
- 地産地消 (上p.101)
- 工場で働く人の安全や健康への配慮 (上p.118)
- 安全で人にやさしい車づくり (上p.128～129)

**6年**

- 高度経済成長と国民生活の変化 (上p.140～141)
- 健康で豊かな暮らしと基本的人権 (下p.32～33)